

平成 25 年度事業報告書

法人の名称

特定非営利活動法人楽しいスポーツを支援する会

1、 事業の成果

2014年4月より新しい事業として、川崎市王禅寺余熱利用市民施設における水泳指導の一部を行う事となりました。4月から9月までの半期で一部の水泳指導ですが、6名の方が係って仕事をさせていただきました。その他にも競泳長水路練習会、水泳成人教室を新たに開催しました。上井草スポーツセンターにおける障がい児のアクアムーブメントも定着化し子供たちに楽しんでいただきました。静岡県富士市の重度障がい者アクアムーブメントも今年もまた開催することができ、マザーズホームの子供たちのアクアムーブメントも開催できました。指導員養成講習会は3月に1回のみで開催となりましたが、多くの方に受講していただきました。横浜の障がい児訓練グループ「れいんぼー」のアクアムーブメントも月1回のペースで継続して行っています。トライアスロンエリートアスリート水泳指導も継続して行っており成果を上げています。何といても最も大きな事業である川崎市多摩スポーツセンターの水泳指導事業が4年目の今年度も滞りなく行えたことがNPO全体を大きく支えています。平成16年9月設立の当NPOも10年目を迎えます。現在の事業を継続しその内容を充実させることが最も大切と考えています。指導員養成講習会を行い、仲間づくりをしていきながら、社会的活動を推進していきます。

2、 事業の内容

上井草スポーツセンターアクアムーブメント①

日時： 平成25年10月27日(日) 午後12時45分～13時55分

場所： 杉並区上井草スポーツセンター
〒167-0023 東京都杉並区上井草3-34-1
☎03-3390-5707

参加者： 杉並区及び近隣地区在住の知的障害児(小学生)11名とその兄弟2名

目的： 杉並区上井草スポーツセンターに障害児のアクアムーブメントの定着

内容： アクアムーブメント(荒井講師のリード)

12:00	スタッフミーティング
12:30	更衣
12:45	準備体操
13:00	集団でつなぎ遊び
13:10	フープ 潜り 電車ごっこ
13:20	ボール
13:35	キックボード 頭に乘せてバランス 板キック 背面キック
13:55	終了

指導員： 講師1名、指導員 11名、ボランティア 2名、事務局 1名

収入： 98,000円

支出： 謝金 22,000円

交通費 22,180円

合計 44,180円

収支 53,820円

成果： 今回は、小学生に限定し募集をかけました。残念ながら11名の参加者と前回より

も減少しました。集合時のミーティングでは荒井講師より、「イベントなので、楽しい時間を共有することが大切」と、ということが指導員に伝えられ、ボランティアの指導員 15名はそれぞれの役割を分担し、配置につき、上記の内容で進行してきました。プールフロア設置の場所は歩行運動を中心に移動しながら、フープくぐり、平浮き、ジャンプなどを行い、深い場所では、指導員が介助して背浮き、お馬さんごっこでの上下動、肩につかまっのキックなどを行い、ボールはハンドボールの大きさのものを使用し、水中ドリブル、ラッコさんなどを行い、常に右回りで流れのある状態で全体の動きを止めずにすすめられました。今回は、指導員の数が参加者人数を上回っていたので、一般の入場者に迷惑をかけずにイベントが行なわれました。途中で飽きてきて、自分勝手な行動をとる子供もいましたが、多くの参加した子供たちは笑顔が絶えず、楽しそうでした。次回は 11 月 10 日に中学生以上を集めて泳ぎにつなげるアクアムーブメントを行います。

上井草スポーツセンターアクアムーブメント②

日時： 平成 25 年 11 月 10 日(日) 午後 12 時 45 分～13 時 55 分

場所： 杉並区上井草スポーツセンター
〒167-0023 東京都杉並区上井草 3-34-1
☎03-3390-5707

参加者： 杉並区及び近隣地区在住の知的障害児 15 名 小学生

目的： 杉並区上井草スポーツセンターに障害児のアクアムーブメントの定着

内容： アクアムーブメント(荒井講師のリード)

12:00	スタッフミーティング
12:30	更衣
12:45	準備体操
13:00	集団でつなぎ遊び
13:10	フープ 潜り 電車ごっこ
13:20	ボール
13:30	キックボード 頭に乗せてバランス 板キック 背面キック
13:40	泳ぎにつなげるムーブメント
13:55	終了

参加者： 15 名

指導員： 講師 1 名、指導員 11 名、ボランティア 2 名、事務局 1 名

収入： 98,000 円

支出： 謝金 20,000 円

交通費 19,905 円

合計 39,905 円

収支 58,095 円

成果： 今回は 15 名という人数の参加で賑わいました。一連の流れを指導員が周知していたおかげで、スムーズなイベントとなりました。個人の能力を各指導員が把握し、イベントとしての全体の流れに乗って個別に適切な指導をしたようで、参加者の反応も良かったと思います。

社会福祉法人インクルふじ 生活介護事業所「でら〜と」「らぼ〜と」利用者 アクアムーブメント報告書



社会福祉法人インクルふじ運営方針

- 社会の一員として、より多くの人との関わりを大切にする
- 健康・生活・社会面に関するあらゆるハンディを、より軽減できるように努力する
- 自己決定、自己選択を重んじ、支援にあたる
- その能力に応じたQOLを高めるために努力する
- これらの考えをより多くの人に伝

え、実践していくことにより、社会福祉の啓蒙をする

NPO法人楽しいスポーツを支援する会活動指針

- 健康と感動と幸福感

参加者： 合計 74名
「でら〜と」通所者 19名
「らぼ〜と」通所者 10名
「でら〜と」「サポート」職員 29名

RSC 富士スタッフ 7名

「NPO 法人楽しいスポーツを支援する会」講師、指導員 9名

見学 8名

日時： 平成 26 年 6 月 30 日(月) 午後 13:00~14:00

会場： R スイミングクラブ富士
〒417-0061 富士市伝法 2560-1

Tel 0545-52-0488

集合： 生活介護事業所でら〜と
〒417-0061 富士市伝法 86-3

Tel 0545-23-1551

溝ノロ 午前 7:45

JR 溝ノロ横 ニッポンレンタカー溝ノロ店

川崎市高津区溝口 1-1-30 044-866-2231

「でら〜と」着 午前 10:15

挨拶と施設利用者活動見学・ミーティング 午前
10:30~11:30

所長より

- ① でら〜と・らぼ〜と利用者の特徴
種別では重症心身障がい児(者)

寝たきりの者が多い。数名座位

立位が可能。言語によるコミュニケーションがほとんどできない。

脳性麻痺が多く、てんかんを合併症でもっている

- ② でら〜と・らぼ〜と利用者へのアクアムーブメントの意



や

義

寝たきりの方が多く、常に重力に押しつぶされた生活なので、胸郭の扁平や脊柱側弯などの変形が顕著。

水による浮力は重力から解放してくれるとともに、様々な姿勢を少ない負荷で可能にする

③ 注意事項

- 利用者の状況は個々に違うので、必ずスタッフと打ち合わせをして、出来ること出来ないことなどの確認
- 運動障害のため、骨が細くもろいことに加えて長年抗けいれん剤を服用しているため骨折の危険性があるため、一肢を引っ張るなどは要注意。水に浮いている場合は負荷が減る
- 水遊びなどの時にてんかん発作の可能性が高くなる。表情や体の痙攣などの観察。おかしい時にはスタッフに連絡。発作で亡くなることはないが、水を誤嚥したり、浮き具の下に顔が入ってしまうなどが心配。
- 末梢の循環不全があるために、四肢や唇の色を観察
- 医療的なケアのある方(胃ろう・経管・カニューレ)は看護師から個別に説明を受けてください

NPO 講師より

- アクアムーブメントの狙いは動きを導き出すことにあるので、強制的な指導はしないように
- 所長の説明どおり、スタッフとの連携を大切にしてスタッフの示には従うように
- プール内の大きな流れはプール全面を使い右回りで動き、時に前後左右のうごきや、左回りを入れる
- 個々の人達の動きを早い段階でつかみ取ってください
- 自ら笑顔で楽しい時間を過ごしてください



指

利用者昼食開始 午前 11:00



この食事時間中に、プールに入る方との顔合わせを行い、所長又はスタッフの方から個人の特徴と注意事項を聞き指導員からの質問を受ける時間とした



コーチ昼食 午後 11:30～

プールへ出発 午後 12:00

会場の R スイミングクラブ富士には、10分で到着。駐車場から体育館には車椅子を3人がかりで持ち上げて移動し、体育館に仕切りをつけて更衣室とした所で着替え。指導員は更衣後プールサイド準備にかかる。

参加者の更衣は、施設スタッフの方が手際よくやっています。



施設内で水着を着てきている方もいます。体育館からプールへは段差があるので抱えたりおぶったりして移動です。プールサイドには12:20頃より集まり始め、12:40分頃にはほぼ全員集まったので簡単な挨拶をして、担当指導員を再度確認し、組になってプールに入っていた。

アクアムーブメント 午後 12:45～13:45

「アクアムーブメント」実際の流れ



大きく右回りで動きながら、プールの全面を有効に使いながら動き出した。始めの状況把握が大切なので指導料は参加者の表情をよく観ながら、話しかけ、笑顔を忘れずに動きをつくっていった。数分後に一人の方にてんかん発作の軽い症状が出たが、施設スタッフにすぐに知らせ、プールサイドにて落ち着くまで休憩した。その方も 10 分程で又プールに入ってきた。早くも手



足を動かす、顔を水につけ泳いでいる人もいた。しっかりとしたクロールストロークでした。背浮きで腕や脚を動かす人、何回も潜る人、プールサイドにつかまり横移動して歩いている人。皆さんそれぞれ自分の出来ることを指導員と楽しく行っていました。プールの中には、カラー



ボール、風船バレー用の風船が投入されています。これらの用具はプール内を華やかにし、プール内の水の流れを視覚的にも感じさせます。アクアヌードルも非常に良い教材となります。胃ろう、気管切開をしている方を安全に水面上で維持できます。今回の参加者の多くは脳性麻痺の方で、腕や脚のねじれや強い筋緊張がある方もいます。その方々の筋緊張が緩みだすのが分かります。

表情も穏やかになり笑顔がこぼれます。この笑顔を引き出せばア

クアムーブメントは成功です。途中でプールの真ん中に全員集合、指導員の合図に合わせ「おもちゃのチャチャチャ」歌いながら手を動かしました。また少しずつ右回りで動きながら、それぞれのテーマで水を楽しみます。小さな子供のお母さんも一緒に入っています。お母さんの笑顔が印象的でした。途中から今度は左回



りアクアヌードルのトンネルくぐり、立位での移動、背浮きでの移動、中には潜りっぱなしの人もいました。R スイミングクラブ富士のコーチの方々が手伝って下さったので、プール利用もやりやすく、順調に進んでいきました。25 分もすると唇の変色が見られる方が出てきました。その人達は、もう終了です。お風呂やシャワーで暖まります。終了の時間が近づいてきました。始めにプールから上がった人と、最後に上がった



た人との時間差は 30 分以上となりま

した。しっかりと表情を把握しその動きを観ていくことで、適切な状況判断をします。今日は施設の入浴の日になっている方は、プールのお風呂を借りて、しっかりと入浴を済ませました。女性、男性の順でここでも施設スタッフのテキパキした動きに感心させられました。上がった方からシャワーを浴びて更衣です。プールサイドで身体をふき一人ひとり体育館に順番に移動です。指導員はプールとプールサイドの後片付け。



更衣と帰宅 午後 14:15～14:45

更衣中に疲れて眠っている人がいました。濡れたまま帰ると風邪をひきます。終了後の更衣もしっかりと様子を見ながら行います。更衣終了者は車椅子、移動ベッド等で待機します。施設の車の準備も出来ました。体育館から駐車場へは 3 人で下します。終了後、施設に戻って家の方のお迎えを待つ人、その場から自宅へ帰る人に分かります。指導員が会場を出たのは 14:50 分頃です。



反省会 午後 15:00～15:30

「アクアムーブメント」を終了して

いろいろと不慣れなこともありながらも無事に今回のアクアムーブメントを終了しました。これも、施設スタッフの方々の献身的な行動と、今回、会場を提供してくださった上に、多くのコーチの方々がお手伝いして下さった R スイミングクラブ富士の皆様



様のお蔭です。有難う御座います。また、昨年から寄付金を募集し、多くの方にご賛同いただき、保温水着を購入することが出来ました。この保温水着は購入先の株式会社ディーシーエヌ代表取締役菊池様のアドバイスにより適切なものを購入使用できました。更衣に携わった方からも好評でした。有難う御座いました。

帰宅： 現地出発 午後 15:45
海老名サービスエリアにて休憩
溝ノ口解散 午後 17:45



成果： ウエットスーツの着用により、冷えから体を守り、浮力を得ることで参加者が長くプールに入っていることが出来るようになりました。寄付していただいた方々にお礼を申し上げます。プール借用をお許しいただいた R スイミングクラブ富士の方々にもお礼申し上げます。有難う御座いました。重度の障がいを持つ方々の参加ですが、リラックスした表情を見られ、笑い声が多く聞こえたイベントでした。また来年も行います。

収支：	収入	0 円
	支出 交通費	35,185 円
	謝金	23,000 円
	講習会費(参加者ウエットスーツ)	263,792 円
	交際費	10,269 円
	支払手数料	432 円
	合計	332,678 円
	収支	-332,678 円

※ 今回講習会費として計上したウエットスーツの購入費用の 80%以上は寄付金によるものです。

マザーズホームのよい子とアクアムーブメント

日時： 平成 26 年 7 月 14 日(月)
午前 9 時 30 分から 11 時 00 分
マザーズ”ホーム



富士吉田市立保育園(小学校入学前の障害児通園施設)

富士吉田市松山 4-11-27 Tel0555-24-0570

会場：ブルーアース富士河口湖 (町営) 25m プール
富士河口湖町船津 5540 Tel 0555-24-0570

時間：

集合	溝の口	7 時 00 分
会場到着		9 時 00 分
顔合せ・説明		9 時 10 分
プール入場		9 時 20 分
アクアムーブメント開始		9 時 30 分
終了		10 時 30 分
保育園へ移動		11 時 00 分



子供たちは昼食
反省会 12 時 00 分～13 時 30 分



内容：
準備体操場にて挨拶と注意事項説明。



親子水中運動なので皆で楽しくやりましょう。

シャワーを順番に浴びてプールサイド集合

プールサイドで腰かけながら皆で水慣れ

プールフロアの敷き詰めた場所とフロ

アの無い場所を右回りで子供を抱

っこしながら右回りで移動。

プールフロアにはフープが取りつ

けられている。深いところはお母さんが抱っ

こ。

浅いところは自分で歩いて、歩けない子供は抱っこして移動。フー

プの場所で潜って通過したり、避けて通ったり、浮かせてもらいくぐったり。次はみんな繋がってつなぎ遊びで電車ごっこ。ヌードルを使って「お馬さんパカパカ」でバランス運動。集まって歌を歌いながら手を動かします。

アームヘルパーを使って一人で浮こう。お母さんと離れる。

成果：

一年ぶりに会うと、子供の成長に驚かせられます。7年目を迎え活動の継続性の大切さを実感するとともに、大きな喜びを感じます。どっちが楽しませていただいているのやら？お母さんたちは不安を抱えながらも一日一日を子供たちと大切に過ごしています。まずは子供たちの健康第一です。

お母さんお父さんの愛情。マザーズホームの先生方の愛情が子供たちに伝わっています。ここに通う子供たちは身体の中に染み透った愛情で健やかに成長しています。また呼んでください。私たちも楽しみにしています。

収支：	収入	50,776 円
	支出 交通費	34,008 円
	謝金	17,000 円
	合計	51,008 円
	収支	-232 円



中野島小学校・東生田小学校支援級アクアムーブメント

日時： 平成 26 年 7 月 8 日・22 日・29 日 午前 9 時 00 分より 10 時 30 分

場所： 中野島小学校・東生田小学校

講師： 荒井 正人、

ボランティア： 1 名

参加者： 支援級 12 名

参加費： 0

テーマ： 学校授業にアクアムーブメント

収入： 24,000 円

支出： 謝金 0 円

収支： 24,000 円

成果： 子どもたちのやる気は楽しさから引き出されます。小集団による水中でのゲームから子供たちは水に慣れてきます。潜ることを楽しんでいる子供も増えてきました。更衣やプールでのルールも少しずつ理解し、円滑に行動できるようになりました。

競泳長水路練習会

第1回

平成25年11月4日 18:00～20:00 代々木国立競技場

参加者 18名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 4800m

第2回

平成25年12月3日 18:00～20:00 代々木国立競技場

練習内容 競泳練習 合計距離 4500m

第3回

平成25年12月17日 18:00～20:00 代々木国立競技場

参加者 17名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 4200m

第4回

平成26年5月2日 18:00～20:00 代々木国立競技場

練習内容 競泳練習 合計距離 4200m

第5回

平成26年5月5日 15:30～17:00 代々木国立競技場

参加者 25名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 5400m

第6回

平成26年5月20日 17:30～19:00 代々木国立競技場

参加者 14名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 3900m

第7回

平成26年6月3日 17:30～19:30 代々木国立競技場

参加者 22名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 5600m

第8回

平成26年6月10日 19:00～21:00 東京都体育館

参加者 21名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 4800m

第9回

平成26年6月17日 17:30～19:30 代々木国立競技場

参加者 18名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 5700m

第10回

平成26年6月24日 19:00～21:00 東京都体育館

参加者 16名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 4100m

第11回

平成26年7月1日 17:30～19:30 代々木国立競技場

参加者 13名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 5000m

第12回

平成26年7月15日 17:30～19:30 代々木国立競技場

参加者 17名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 5400m

第13回

平成 26 年 8 月 11 日 10:00~12:00 代々木国立競技場

参加者 8 名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 5700m

第 14 回

平成 26 年 8 月 14 日 12:00~14:00 代々木国立競技場

参加者 18 名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 6000m

第 15 回

平成 26 年 8 月 15 日 12:00~14:00 代々木国立競技場

参加者 16 名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 6100m

第 16 回

平成 26 年 9 月 2 日 17:30~19:30 代々木国立競技場

参加者 17 名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 4800m

第 17 回

平成 26 年 9 月 9 日 19:00~21:00 東京都体育館

参加者 17 名 都内の中高生

練習内容 競泳練習 合計距離 3800m

収支： 収入 298,000 円

支出 講習会費 296,350 円

交通費 10,000 円

指導料 0 円

合計 306,350 円

収支 -8,350 円

成果：上記のように、平成 25 年度青少年のための競泳練習会を代々木国立競技場内 50m プールと千駄ヶ谷の東京都体育内室内 50m プールにおいて行った。参加者の中に千葉国際プールで 8 月 17 日から 20 日に行われたインターハイで 100m200m 背泳ぎ優勝と 9 月 12 日から 14 日に長崎市民プールにて行われた国体少年 A の部 200m 背泳ぎ優勝を成し遂げた選手も全日程参加していました。その他に、全国中学校水泳競技会 1500m 自由形 8 位の選手や夏季 JO メドレーリレー 5 位や自由形 200m 6 位の選手たちも休まずに参加していました。参加者の殆どが全国大会に参加して良い成績を収めていました。

全国大会において上位を狙う競泳選手にとって長水路での練習は、欠かす事の出来ないものであります。今後も、良い機会を青少年に与えられるように努めていきたいと思えます。これも、アクアムーブメントの一つであります。

プライベートレッスン

平成 25 年 11→4 回 12 月→4 回

平成 26 年 1 月→3 回 2 月→3 回 3 月→3 回 4 月→4 回 5 月→4 回

6 月→2 回 7 月→7 回 8 月→6 回 9 月→1 回

成果：定期的には小学生 1 名のプライベートレッスンが継続して行われています。その他は成人のレッスンが夏場に多く行われました。集団指導にはない細かな指導が出来、それぞれの目標に沿った内容で行われました。それゆえ参加者からの評判は良いようです。

収支： 収入 316,096 円

支出 謝金 127,500 円

	交通費	18,846 円
	合計	146,346 円
収支		169,750 円

成人水泳教室

日時： 平成 26 年 13 月 8 日・9 月 2 日
 場所： 代々木国立競技場室内プール・東京都体育館室内プール
 講師： 臼井 正視
 参加者： 2 回で 38 名
 テーマ： 水泳練習

収入：		57,000 円
支出：	謝金	12,250 円
	交通費	400 円
	講習会費(施設使用料)	28,600 円
	合計	41,250 円
収支：		15,750 円

成果： 水泳の技術は奥深く、その追求は非常に楽しいものであります。健康と幸福と感動がアクアムーブメントのテーマです。この成人水泳も自分の体を水の中で上手に操り全身持久力の向上と、柔軟性、筋力の向上をめざし、健康で前向きな人生を歩んでいただくために行いました。参加者の皆さんからは、好評を得たと思います。次回の企画も出来ておりすでに募集も開始しています。

指導者養成講習会

平成 26 年 3 月 16 日(日)
 主催： NPO 法人楽しいスポーツを支援する会
 会場： フィットネスクラブブリーズベイ
 収支： 収入 38,000 円
 支出 謝金 0 円
 交通費 1,580 円
 講習会費 72,482 円
 事務費 4,055 円
 合計 78,117 円
 収支 - 40,117 円

① 3:05~4:10 八木香講師

水中で行う機能改善の考え方と実際
 腰・膝などの下半身を中心に日常生活をする上で身体に無理のない動きを習得するための水中運動

膝の位置と足の
 指先の位置は真
 直ぐ



腹筋・背筋群を安定させ足の
 裏の感覚を敏感にし、腰、膝、
 足首の屈伸により体を水泳
 移動させる



腹筋・背筋群を安定させ
股関節からの動きで、足
の裏を壁面につけるよ
うに動かす



② 4:15~5:20 宇野佳子講師

アクアダンスの基本的コリオグラフィの組み方

アクアの5つの基本動作=ウォーキング・ジャンピング・ロッキング・キッキング・シザーズの動きをスムーズに組み立て、それを変化させ、変換させながら、音楽の流れに合わせたプログラムを無理なく作っていくのがキーポイント



説明と陸上練習の後、参加者がバディーになり音楽に合わせて指導者役と受講者役で実際に動いてみました



最後の宇野講師のアクアビクス！受講生も乗っていました。



成果： 宇野・八木両講師の講習会は常に参加者に元気を与えます。自ら実践している生き方がそれをさせるのでしょう。理論と実践の双方が両輪となり講習会が進んでいきました。今後も一年に1回は行っていきたいと考えています。両講師は、川崎市多摩スポーツセンターでも指導を月1回行っています。

トライアスリートのエリートクラス水泳指導

期日： 平成25年10月～平成26年9月

時間： 午前6時00分～7時30分

対象： 日本選手権出場クラスのエリート選手及びマスターズスイマー

場所： 太陽教育スポーツセンター内25mプール

〒152-0021 東京都目黒区東が丘2-14-6

内容： クロールを中心とした水泳練習

基礎的持久力を高める目的のトレーニングを中心に、スピード持久力養成、スプリント力養成トレーニングをおこなう。また、フォームにも目を向け、海や湖における集団泳にも対応できる能力を身につけるためのトレーニングもおこなう。

成果： 練習回数が4ヶ月で20回になったので、エリートトライアスリートの平均的な泳力がやや下がり気味である。しかし、1回の内容を濃くして、新しい力を入れていくことにより、アスリートたちの奮起を促していけば、更なる向上が望めます。

その他： 主催はNPOであるが、募集、選手管理は株式会社サニーフィッシュが行った

収支：	収入	832,620 円
	支出 指導料	0 円
	交通費	53,194 円
	交際費	42,730 円
	合計	95,924 円
	収支	736,696 円

レインボー(障害児訓練グループ)のアクアムーブメント

期日： 毎月第2土曜日

時間： 午前11時00分～11時55分

対象： 障害児訓練グループ「れいんぼー」の親子

場所： 横浜ラポール

内容： 低年齢が中心の障がい児訓練グループなので、親子のスキンシップを基本とし、グループ運動としてのアクアムーブメントの利点を生かし、子供の機能改善、情緒安定、健康保持を目的として、尚且つ、保護者へのサポートを行う。4月に荒井講師から臼井、戸津川、小暮に指導スタッフが変わりましたが、内容が引き継いで行っています。

成果： 月一回の活動ですが、参加している子供たちは次第に水に慣れてきて、身体の動きが大きくなってきました。泳ぐという事ではなく、動くことの楽しさが伝わってきているようです。潜れる子供も出てきました。今後は、個人差を考慮しながら、全体プログラムを立てていくとともに、個人プログラムの重要性が出てきたようです。

収支	収入	127,440 円
	支出 謝金	10,000 円
	交通費	5,400 円
	合計	15,400 円
	収支	112,040 円

川崎市王禅寺余熱利用施設水泳・水中運動教室

期日 平成26年4月～26年9月

場所 ヨネッティー王禅寺

時間 月曜日 15:00～17:30 金曜日 15:00～17:30

対象 幼児、小学生

内容 水泳・水中運動指導

指導員 専属職員2名、アルバイト指導員2名

目的 川崎市王禅寺余熱利用施設内プールにて、アクアムーブメントの理論と実践体系を活かした水泳・水中運動を継続して行い、川崎市地域の健康とスポーツの推進に寄与する。

収支	収入	568,270 円
----	----	-----------

支出	謝金	99,900 円
	交通費	86,666 円
	交際費	8,840 円
	事務費	2,463 円
	講習会費	6,480 円
	合計	204,349 円
収支		363,921 円

成果： 4月から9月までの半期中での水泳教室なので、子供たちの状況把握を早めにするのが重要でしたが、比較的スムーズに進みました。但し、施設内の移動距離が長いので安全確保に留意する必要がありました。楽しく水泳を行うためには初めに安全ありきです。来期までに問題点をあぶり出し、より一層良いものにしてきたいと考えています。取りあえず短い準備期間の割には参加者に喜んで頂いたようです。

川崎市多摩スポーツセンター水泳・水中運動教室

期日	平成 25 年 10 月～26 年 9 月	
場所	川崎市多摩スポーツセンター	
時間	別表教室時間表参照	
対象	幼児から高齢者、障がい者も行っている	
内容	水泳・水中運動指導	
指導員	専属職員 3 名、アルバイト指導員 11 名、その他ボランティア	
目的	川崎市多摩スポーツセンター内プールにて、アクアムーブメントの理論と実践体系を活かした水泳・水中運動を継続して行い、川崎市多摩区地域の健康とスポーツの推進に寄与する。	
収支	収入	14,758,952 円
	支出	
	職員給与	6,801,160 円
	アルバイト給与	3,432,350 円
	交通費	748,538 円
	研修費	11,659 円
	事務費	71,373 円
	講習会費	300,933 円
	支払手数料	16,664 円
	租税公課	20,000 円
	法定福利費	1,047,155 円
	福利厚生	462,795 円
	交際費	14,222 円
	消耗品費	21,660 円
	通信費	140 円
	合計	12,948,649 円
	収支	1,810,303 円

成果： 全体の教室別出席者数及び出席率は別資料参照

○川崎市多摩スポーツセンター知的障がい者アクアムーブメント

対象	中学生以上で小集団活動が可能な人	
会場	川崎市多摩スポーツセンター	
日時	毎月第 3 日曜日(8 月はお休み)	10:00～10:50
参加者	別紙	
講師・指導員	2 名	

中学生以上を対象とした知的障害者の水中運動です。月に 1 回定期的に開催してきましたが、参加者は少ないのが現状ですが、少しずつ増加傾向にあるようです。

運動不足解消と社会への参加を目的として、リラックスした楽しい空間をつくっていくように考え、進行しています。今後も同様に定期的に行っていき、ボランティアの募集をして、地域の人たちに参加を促し、障害を持った方々と地域の方の交流の場にしていきたいと考えています。

○川崎市多摩スポーツセンター知的障がい児アクアムーブメント

場所 川崎市多摩スポーツセンター
時間 水曜 午後 5 時 3 0 分から 6 時 3 0 分
対象 知的障害児
参加者 別紙
講師・指導員 7 名

平成 26 年 4 月の時点で人数も増え全 22 人で練習している。9 月の募集時点では 25 名の参加となって、定員オーバーの状態です。子供たちの多くは継続して受講しているのので、指導員にも慣れてきて、かなり泳げるものも出てきました。更衣やプールサイドでも順番待ちがしっかりできるようになり、公共施設の利用の仕方を理解してきたようです。指導グループも 4 つに分け、25m を泳ぐ練習をするクラスも出来ました。

○川崎市多摩スポーツセンター コンディショニング・アクアビクスイベント

一覧表にあるように、参加人数が少ないのが現状ですが、徐々にその人数が増加してきました。イベントの講師は日本でも有数の講師なので、広報活動に工夫をし、参加者増を図っていく必要があります。参加者からは喜びの声も聞こえるので来年度も継続して行っていきます

参加人数、出席率等は別表にて

○川崎市多摩スポーツセンター キッズ・ジュニアクラス

一昨年度よりほぼ定員状態が続いています、使用できるプールのコース数、指導員人数の双方より検討しても安全第一と考えれば、定員で抑える必要があります。これも子供たちの初心者指導方法にアクアムーブメントの技法があっていることの表れだと思います。今後も指導員一同自らの技術を磨き指導方法の上達と開発に努め、自己研さんをしなければなりません。

参加人数、出席率等は別表にて

○川崎市多摩スポーツセンター シニア・成人・アクアビクス等

今年度は安定して増加してきました。泳法指導、シニアアクアムーブメント、アクアムーブメントスイム等名称や内容を変更し、地域にあった成人の水中運動を模索してきましたが、ここでやっと、ニーズに合ったプログラムが揃ったようです。それでも現在の状況に満足せず、プログラム内容の改善に努力する必要があります。

※ 参加人数、出席率等は別表にて

その他の事業は行いませんでした